

学部間協定留学 留学報告書

記入日：2013年2月14日

| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部・学科 | 経営学部・経営学科 |
| 留学先国 | 韓国 |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文：ソウル国立大学経営学部 欧文：SNU Business School, Seoul National University |
| 留学期間 | 2012年3月～2013年1月 |
| 留学した時の学年 | 3年生（渡航した時の学年） |
| 留学先での学年 | 3年生（留学先大学で在籍した学年） |
| 留学先での所属学部等 | 経営学部 |
| 帰国年月日 | 2012年12月15日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2014年3月（見込） |
| 留学先大学について | |
| 形態 | 国立大学 |
| 学年暦 | 1学期：3月～6月中旬 2学期：9月～12月中旬 |
| 学生数 | 32,000人 |
| 創立年 | 1946年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨（ウォン） | 円 | 備考 |
|--------|-----------|---------|---|
| 授業料 | 0 | 0円 | 交換留学のため、留学先への授業料免除 |
| 宿舍費 | | 42万円 | 学生寮に住めば、2学期で10万ほど |
| 食費 | | 約20万円 | 毎日学食だと、2学期で9万ほど |
| 図書費 | | 1.5万円 | 英語の教科書1冊約4000円 |
| 学用品費 | | 0円 | |
| 教養娯楽費 | | 15万円 | 旅行、観光、留学生サークル、サッカークラブ |
| 被服費 | | 0円 | 買う必要はない |
| 医療費 | | 0円 | 気候は日本と似ている |
| 保険費 | | 15万円 | 形態：明治紹介の留学生用保険 |
| 渡航旅費 | | 8万円 | LCCで2万くらいがある |
| 雑費 | | 12万円 | 主に生活用品・携帯など |
| 語学学校 | | 5万円 | 学期あたりの授業料のみ、交換留学生なので半額 |
| その他 | | (6万円/月) | ソウル大奨学金：留学しにくる、日本人学生の中で一番GPAが高いとももらえると思います。 |
| ジム | | 1万5千円 | 月5000円です |
| 合計 | | 115万円 | |

| 渡航関連 | |
|---------------------|-----------------|
| 渡航経路：羽田空港→金浦空港(ANA) | |
| 渡航費用 | チケットの種類： 往復チケット |
| | 往路： _____ |
| | 復路： _____ |
| | 合計： _____ 8万 |

| |
|--|
| 渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。 |
| ガイドブックなどは特に利用していないが、その時、スーツケースを二つ持って罰金を取られないのが ANA だけだったので ANA を利用しました。(実際に来てみると、男は一つでも十分だったと思います) |
| 滞在形態関連 |
| 1) 住居の種類, 留学中の滞在先 |
| アパート |
| 2) 部屋の形態 |
| 個室 (学生寮なら相部屋) |
| 3) 住居を探した方法 |
| 留学先機関が斡旋 |
| 4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス) |
| 安く済ませたいなら、学生寮でも大丈夫だと思います。ただし、シャワー、トイレ、キッチン、洗濯機はフロアごとに共有。 基本的に事務室の人は大変親身に助けてくれるので、訪ねてください。 |
| 現地情報 |
| 1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか? |
| 利用する機会が無かった 可能、留学生向けの格安の学生保険みたいなのがあったと思います。 |
| 2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。 |
| 経営学部事務室、留学生向け事務室(相談窓口) |
| 3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? |
| ないです。 基本的に韓国では、変な行動を起こさない限り大丈夫です。しかし、車の運転は荒いので要注意です。 |
| 4) パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について) 現地での利用はいかがでしたか。 |
| 寮のインターネットは遅いです。学校の図書館が 24 時間空いているのでそこだと wifi が速いので便利です。私は、アパートに住んでいましたが、普通にインターネットが使えました。 |
| 5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? |
| 最初に銀行口座を開くには、到着してから外国人登録証が必要なので、3 週間くらいかかります(パスポートですぐに開設できる銀行もあるが)。基本的にお金に不自由はしていません。最初に大金を持ってきて、後は奨学金で過ごしました。大学の学生証は銀行と提携していて、クレジットカードになるので非常に便利です。 |
| 6) 現地では調達できない日本から持参すべき物があれば教えてください。 |
| 日本で買えるものはほとんど韓国でも買えると思って大丈夫です。しかし、歯磨き粉の感じが違うので、持参したほうが良いと思います。 |
| 進路について |
| 1) 進路 |
| 進学 |
| 2) 進路決定の際に参考にした資料, 図書, 機関など |
| なし |
| 3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, 或いは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。) |

| |
|--|
| 企業名：未定 |
| その企業を選んだ理由： |
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 |
| 留学中から、就職活動の準備をインターネット（就職サイト）を使ってしていました。主に、企業・業界研究、自己分析・テスト対策など。日本経済新聞もwebで読むように心がけました。留学していたおかげで、もっともっと他の人より、焦りなどから就職活動を意識することができたと思います。逆に留学が弊害になって就職活動ができないということもないです。今の時代なら、情報はネットに広がってESなども就職サイトを通じて提出できます、就職活動関連の本も留学時に持参すればいいと思います。 |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| 進学希望先：HEC |
| 6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書き下さい。 |
| 私は、ソウル大学出大学院の授業を受けてみて、大学院に進学したいという気持ちが増しました。もし、院進学を考えているのならば、機会があれば実際に授業に触れてみたほうがいいと思います。 |
| 7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 |
| |

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）。

| | |
|--------------------------------|---|
| 2011年7月 派遣交換留学生募集～ 選考試験日 | 面接では教授たちは、留学先の志望動機などの基本的な質問ばかりを投げかけてくるので、自分でしゃべることを整理して臨んでください。 |
| 12月～2012年1月 準備期間① | 留学先への大学の資料の提出や、ビザの獲得、保険の獲得、チケットの獲得など。ビザはすぐに申し込んだほうがいいと思います。 |
| 2012年1月～2月 準備期間② | 履修登録や、住居の確保、最低限の生活用品の購入、スーツケース荷造り。常に締切などは気に留めながら余裕を持って行動した方がいいです。 |
| 2月～3月 渡航～留学直前 | 外国人在住登録や留学生のウェルカムパーティーなどに参加しました。 |
| 3月～6月 留学期間① | ソウル大学の前期、授業をメインに受けながら、時間のある時に友達と観光したり、山登りなどのアクティビティをしました。 |
| 6月～8月 留学期間② | 日本に一時帰国し、インターンシップ1ヶ月半、業界・企業研究、テスト対策などをしていました。 |

| | |
|---------------------|----------------------------|
| 9月～12月 留学期間③ | 授業の勉強と並行して、就職活動の準備をしていました。 |
| 12月～2013年2月 帰国後① | 大学院の準備、テスト勉強、リサーチなど |

留学体験記

| | |
|-------------------------------|--|
| 留学を決めた理由 | 私は、大変遅咲きの長期留学希望者です。大学1年生の夏に経営学部の語学研修を通じて、海外での生活、海外の大学で勉強することに充実感を覚え、長期で勉強、生活してみたいと思い留学を決意しました。留学したい強い気持ちに行動力が伴ったおかげで、3年の春から留学できたと思います。 |
| 留学のために行なった準備、「しておけば良かった」と思う準備 | <p>受験した語学能力試験： TOEFL-iBT、TOEIC</p> <p>上記試験の対策、英語能力を伸ばすための工夫： こまめに試験を受けて、自分の成長が実感できれば、それがやる気になって頑張れると思います。</p> <p>総合的なアドバイス： 英語力そのものを上達させるよりも、留学してからは授業外で生きた英語を使うので、ブロークンイングリッシュであれ、相手がネイティブであっても自信を持って話せるようなハートを留学する前に身に付けてください。 自信を持って話す勇気というのは、自分の意見を伝えたりするのにとても大切だと思います。</p> |
| この留学先を選んだ理由 | <p>私がソウル大学を選んだ理由は主に三つあります。一つ目は、日本の大学に比べ、スケジュールに1ヶ月間のずれがあるだけで、3月から留学できるということ。そのことによって1年間の留学ですが、就職活動も普通の学生と同様に受けることができます。二つ目は、ソウル大学は英語教育の水準が大変高く、教授のほとんどが海外のビジネススクールでの経験があり、英語の学習でもアメリカ、ヨーロッパに引けを取らないからです。三つ目は、留学費用を大変安く抑えることができるということ。韓国は物価も家賃も食費も交通費も日本の2分の1以上ですみます。日本から近いので、フライトのチケットも安いですね。</p> <p>さらに、文化や食事が似ているということで（ごはんが毎日食べられる）、英語以外の外国語を身につけることができるなどもあると思います。</p> |
| 大学・学生の雰囲気 | <p>ソウル大学は大変膨大な敷地面積を誇る大学です。キャンパス内にシャトルバスが走り、バス停の数は18にも及びます。自然に囲まれていて、裏には山があり、週末などに山登り人もたくさんいます。勉強の環境としても優れていて24時間空いている図書館もあります。</p> <p>こちらの学生は大変学習意欲が高いので、自分の勉強にたいする刺激にもなります。またソウル大学の学生は英語の能力も大変高く、ほとんどの学生が英語を話すことができます。</p> |
| 寮の雰囲気 | 私は寮には住んでいなかったのですが、寮の周りにはビリヤード場や、美容院やレストランが3つ、ジムがあるので大変生活に便利だと思います。留学生たちは、定期的にご飯などを一緒に食べているので、私もジムの帰りによく混ざって一緒に食べていました。 |

| | |
|--|--|
| <p>交友関係</p> | <p>基本的に、韓国に留学していると他の留学生からは自分が韓国人に混ざり、留学生と認知されないのが、最初は受け身にならず友達を作りたいのであれば、自分から積極的に話しかけていくのがいいと思います。それとは別に、ほとんどの留学生が参加しているサークルがあり、その中で韓国人の知り合いなどもたくさん増えて、たくさんの活動ができると思います。 それ以外にたくさんのクラブがあるので、自分の興味のあるクラブに入ってみるのも悪くないと思います。私はサッカー部に入っていました。</p> |
| <p>学習内容・勉強について</p> | <p>私は経営学を専攻していました。前期は英語での授業に慣れようと専攻である経営学の授業を受講し、必死で授業の予習復習をしていました。その甲斐あってか、一か月、二か月が過ぎてから大変時間がかかっていた宿題や予習に余り時間をかけずに余裕をもてるようになりました。 後期は、新たな分野と次のレベルへの挑戦ということで、自分の関心強い他学部の授業とふたつのマスターの授業をとりました。 最初は慣れるのに、勉強をたくさんしますが、大変学習能力の向上につながったと思います。</p> |
| <p>留学先での履修科目 参考 URL</p> | <p>sugang. snu. ac. kr</p> |
| <p>課題・試験について</p> | <p>授業によりますが、課題がたくさん出るものもあります。 授業の復習予習を心掛けていました。 試験は基本的にどれだけ勉強したのかを問われるものなので、たくさん勉強する必要があります。</p> |
| <p>大学外の活動について</p> | <p>特になし 日本人留学生の友達でダンススクールに通ったり、難民救済のボランティアに参加したり、クラブで交友関係作りに営む人もいました。</p> |
| <p>ある平日のスケジュール</p> | <p>6時：起床 7時-9時：図書館で勉強 or サッカークラブ 9時-17時：授業 17時-23時：図書館で勉強</p> |
| <p>ある休日のスケジュール</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館で1日中勉強 ・海岸沿いにある留学生の友達の家に宿泊 ・山登り、ラフティング ・Flshowrun 観戦 etc |
| <p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p> | <p>留学生活で何に価値観を置くかは人それぞれだと思います。遊びにしても、文化的経験にしても、勉強にしても色々あると思いますが、私は自分の関心の強いことを中途半端にやるのではなく、思い切りやるべきだと思います。 私にとっての留学は大変実りのあるものでした。なぜなら、私は勉強に価値観をおいて、自分の未経験の分野へ行動力と勇気を持って挑戦したからです。 留学では、勉強でも遊びでも旅行でも、安全策ばかりを考えずに、リスクをしょってでも色々なことに挑戦し、経験してみてください。 そのチャレンジの数だけ、留学が終わって振り返った時に充実感であふれていると思います。</p> |

留学先で履修した授業科目

| 学習・研究活動についてのレポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください） | |
|--|---|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 27 単位 | 20 単位 |
| 2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。 今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名① | |
| Marketing Management : マーケティング経営論 | |
| 科目設置学部・研究科 | 経営学部 |
| 履修期間 | 前期 1 学期 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 2 単位認定 |
| 授業形態 | 前半レクチャー 後半チームプレゼンテーション |
| 授業時間数 | 1 回 90 分の授業が週 2 回 |
| 担当教授 | Park Kiwan |
| 授業内容 | 前半はマーケティングの基礎的な勉強（ブランディングをベースに） 後半はチームプレゼンテーション 2 回（ハーバードビジネスケース、新規ビジネスモデル or 商品） |
| 試験・課題など | 試験：中間テスト（レクチャーノート）4 択、定義、エッセイ/期末テスト（6 つのハーバードケース+指定資料） エッセイのみ 課題：レポート 2 回 |
| 感想を自由記入 | 教授は英語がうまく、体系的なことよりも、マーケティングに関しての大きな枠組みを捉えるように学生を刺激していて、学生目線の人であったのでよかったです。 単位取得: not easy |

| 履修した授業科目名② | |
|--|---|
| International Business Management : 国際経営 | |
| 科目設置学部・研究科 | 同上 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 2 単位認定 |
| 授業形態 | ケースディスカッション/レクチャー/チームプレゼンテーション |
| 授業時間数 | 同上 |
| 担当教授 | Lee Jee ho |
| 授業内容 | 週に 1 回教授のレクチャーとレクチャー内容に関するハーバード or スタンフォードのビジネスケース、金融の書籍に関するディスカッション、最後はチームプレゼンテーション(既存の企業研究、戦略立案) |
| 試験・課題など | 試験：中間テスト/金融の書籍に関する問題が事前に出され、自分で書いたエッセイを丸暗記して臨む、その他レクチャーに関する用語の定義を丸暗記、常にペンを走らせて、ギリギリ時間が足りるくらい 課題：毎週チームでケーススタディのレポート |
| 感想を自由記入 | 毎回のディスカッションでは自分から手を挙げて発言しなければ、点数を貰えないので、準備をして臨まなければならない。英語を人前で発言する機会が多く、自分のスピーキングの向上につながった。 単位取得: difficult |

| 履修した授業科目名③ | |
|------------------------------|---|
| Operation Management : 業務管理論 | |
| 科目設置学部・研究科 | 同上 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 2 単位認定 |
| 授業形態 | レクチャー |
| 授業時間数 | 同上 |
| 担当教授 | Park Jeong Soo |
| 授業内容 | 教授が黒板に書く資料を手元のハンドアウトと照らし合わせて書き写すのみ |
| 試験・課題など | 試験：中間・期末/どちらも定義、計算問題、エッセイ 課題：なし |
| 感想を自由記入 | 教授は英語が大変下手で、聞き取りが困難。基本的にノートに書き写して、テストに臨むだけ、出席も取らず、面白くないので大半の生徒が出席していなかった。 単位取得：留学生は必然的に S |

| 履修した授業科目名④ | |
|--|---|
| Special Topic in Business Administration : (経営学特別講義、留学生対象) | |
| 科目設置学部・研究科 | 同上 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 2 単位認定 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 |
| 授業形態 | 毎回教授が入れ替わりレクチャー, チームプレゼンテーション 2 回、フィールドスタディ (ホテルでのディナー、ヒュンダイ工場見学) |
| 授業時間数 | 1 回 3 時間の授業が週 1 回 |
| 担当教授 | Sunny Kim |
| 授業内容 | チームで企業、産業の研究をしてプレゼンテーション、授業内容は韓国の企業・企業文化、特許・訴訟問題 (アップルサムスン)、革新的新規ビジネスモデル or 製品立案 |
| 試験・課題など | 試験：中間のみ (韓国の企業・企業文化、特許・訴訟問題) エッセイが主 課題：自国の企業と海外の企業の特許訴訟に関するレポート (5 枚) |
| 感想を自由記入 | 留学生しかおらず、チームごとに企業訪問などチームでの作業が多いので大変楽しい。実践的なことを学ぶことが多い。ソウルー高級なホテルでフレンチディナーあった。 単位取得：easy |

| 履修した授業科目名⑤ | |
|-----------------|---|
| 韓国語 (レベル 1 初心者) | |
| 科目設置学部・研究科 | 語学学校 |
| 履修期間 | 2 ヶ月半 |
| 単位数 | 2 |
| 本学での単位認定状況 | 計 4 単位認定 |
| 授業形態 | 少人数レクチャー |
| 授業時間数 | 平日毎日 4 時間 |
| 担当教授 | ソン先生、チョン先生 |
| 授業内容 | 初めて韓国語を習う人用の授業、韓国の茶道体験もあり、最後プレゼンテーション、進むスピードは速い |
| 試験・課題など | 課題：中間・期末 (speaking writing listening reading) 宿題：毎日授業の復習問題 |

| | |
|---------|---|
| 感想を自由記入 | 韓国語がまったくしゃべれなかったが、短期間で自分の韓国語がメキメキ伸びていくのが実感でき、大変効果的といえる。生活に必要な会話レベルは身につけることができる。 |
|---------|---|

| 履修した授業科目名⑥ | |
|---|--|
| Managerial Accounting : 管理会計 (途中履修取り消し) | |
| 科目設置学部・研究科 | 経営学部 |
| 履修期間 | 後期1学期 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | なし |
| 授業形態 | レクチャー |
| 授業時間数 | 1回180分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Ahn Taesik |
| 授業内容 | レクチャー |
| 試験・課題など | 毎週課題がでて、試験の難易度も高く、主にCPAなどを目指している学生向け、チームでプレゼンテーションもある。試験は3回ある。 |
| 感想を自由記入 | 課題とテストが多く、会計の応用分野なので、基礎知識がないと少しきつい。 |

| 履修した授業科目名⑦ | |
|--|---|
| Seminar in Marketing (Master) : マーケティングゼミ (院生向け) | |
| 科目設置学部・研究科 | 同上 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 2単位認定 |
| 授業形態 | ディスカッション、プレゼンテーション |
| 授業時間数 | 同上 |
| 担当教授 | Kim Jae Ill |
| 授業内容 | 毎回の授業でディスカッションと先生のレクチャーがおこなわれる。途中からは、毎回の授業で論文を基にチームプレゼンテーション。 |
| 試験・課題など | 試験はなし。最初のほうはレポート課題があるが、期を通しての自分たちの論文を作成することが主、最後の授業でプロジェクトのプレゼンテーション。 |
| 感想を自由記入 | 大変面白く、チームごとに大学院レベルの論文を作成したので、学ぶことが大変多かった。 |

| 履修した授業科目名⑧ | |
|---------------------------------|---|
| Organizational Behavior : 組織行動論 | |
| 科目設置学部・研究科 | 同上 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 2単位認定 |
| 授業形態 | |
| 授業時間数 | 同上 |
| 担当教授 | Yun SeoKhwa |
| 授業内容 | 第8回までは先生のレクチャー、毎回の授業でクラス内でディスカッションの場が設けられる。最後はチームごとにプレゼンテーション。 |
| 試験・課題など | 大きな試験は2回あり、4択と自由記述であり、満遍なく緻密に勉強していないといい点が取れない。ほとんどの学生が鬼のように勉強をするので、平均点は8割強。それに加えて、ミニクイズが3回ある。 |
| 感想を自由記入 | この授業も大変、課題が多く、きつい授業の一つである。しかし、授業の内容としては生徒と先生が双方向的で大変面白い授業である。 |

| 履修した授業科目名⑨ | |
|---|--|
| Joint courses for global perspective and cooperation : 日中韓の儒教の歴史と企業文化の関係 | |
| 科目設置学部・研究科 | 教養学部 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 2 単位認定 |
| 授業形態 | 東京大学とソウル大学と人民大学の三つの大学の授業をそれぞれの教授リレー形式でリアルタイムで中継を通して講義していくスタイル。 |
| 授業時間数 | 同上 |
| 担当教授 | Han, Kyung Koo |
| 授業内容 | それぞれの教授がテーマに沿った自分の専門の授業を自分の国柄に合わせて、講義していく。経済学、哲学、文化人類学をふくむ。 |
| 試験・課題など | 試験はなしで、期中に何回かレポート提出があり、それに代わって、何回かチームプレゼンテーションがある。 |
| 感想を自由記入 | リーディングの資料が大変多い。授業の中で、他の大学の学生とオンラインで意見交換できるのでそれがおもしろい。 |

| 履修した授業科目名⑩ | |
|---|--|
| Social Networks in Internet-based Information and Communication Technology (Master) | |
| 科目設置学部・研究科 | 工学部 |
| 履修期間 | 同上 |
| 単位数 | 同上 |
| 本学での単位認定状況 | 同上 2 単位認定 |
| 授業形態 | レクチャー、チームプレゼンテーション |
| 授業時間数 | 同上 |
| 担当教授 | Jörn Altmann |
| 授業内容 | コンピューターサイエンスの一つで、ネットワークを数値化したり、グラフ化したり、どちらかという基礎的なことから始める。 |
| 試験・課題など | 期末試験とチームプレゼンテーションがある。 どちらも、大変内容が難しく、特にプレゼンテーションの課題として出される、図書は修士・博士号レベルで理解に大変困難する。 |
| 感想を自由記入 | ドイツ人の先生が大変面白く、毎回の授業を大変面白くしてくれ、学生が毎回ディスカッションできるような環境を提供してくれる。大変難しい授業の一つではあったが、大変受ける価値のある授業であった。 |